

親子聖書日課

NO.1659 2020.7/12-18 名前

[日]怪獣レビヤタンはバビロン、竜はエジプト、見事なぶどう畑はイスラエルを指します。私達は罪深い者であっても、見事なぶどう畑ですから、主と和解することによって、生涯豊かな実を結び、喜び歌えます。主によってこそ、人生はやり直せます。

[月]困難に直面すると、酒で紛らわす人がいます。その人は、主の備えて下さる救いの手を見過ごし、嘲ります。10節は、酒に酔ってろれるが回らない様子です。酒に酔わないで、むしろ新しい酒である聖霊に酔いましょう。躓き、倒れません。

[火]「貴い隅の石」は主イエスのことです。この石を土台として、教会も信仰も立てられます。主を「固く据えられた礎」とする人は、どんな試練もびくともしません。この石を土台とするには、主を第一として生活する―御言葉に聴き従うことです。

[水]どれ程、口で主を敬っても、心から主を信じ、従っていなければ、主から「遠く離れている人」です。ありのままの自分を主の御前にさらけ出していますか。悔い改めて、御言葉に聴き従う人こそ、心に主を宿す人で、主の力を頂くことができます。

[木]「主に立ち帰って、信頼すれば救われる」と民は聞きながら、馬(この世)に頼りましたから、滅びに至りました。試練の時も、主は万事を益として下さいます。慌てず、静まって主に祈りましょう。必ず、主の力は弱き所にこそ働いて下さいます。

[金]「災いのパンと苦しみの水」(捕囚の経験)も、主を待ち望む者にとって大きな恵みとなりました。主が牧者となって常に導かれたことを知ったからです。「これが行くべき道だ、ここを歩け」と背後から語られる主の言葉に、迷わず従いましょう。

[土]エジプトと同盟を結んで難局を切り抜けようとする者への警告です。政治や外交が悪いものではありません。神をないがしろにし、自らを改めないで、安易な道を選ぶところに問題があります。本当に頼りになるのは、人ではなく、神です。



	聖書	問題	答え
日	イザヤ 27:1-13	わたしと何をするとよいですか。	
月	28:1-13	何のゆえに迷いますか	
火	28:14-29	主がシオンに据えた石は、貴いどんな石でしたか。	
水	29:1-24	唇で私を敬うが、何は私から遠く離れていますか	
木	30:1-17	どのようにしていることこそ、力がありますか。	
金	30:18-33	あなたの耳は、どこから語られる言葉を聞きますか。	
土	31:1-9	主は災いをもたらし、御言葉をどうされることはありませんか。	
感想と祈りの課題			

